

単
元
名

幸せをめぐらせて、学年の温度計を上げよう

○ 中学校 (1) 年 教科等 (特別活動)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・教科や行事など、さまざまな学習機会の中で、他者とのかかわりを通して、自分なりの人生を作っていく力。
- ・社会生活との関連を意識して、他者とのよりよい関係の構築や、日常生活へ般化する機会を積み重ねていくために、個人の課題を集団の課題につなげていながら、課題を自分事としてとらえる力。
- ・行動へとつなげていくための過程を通して、自らの集団を俯瞰してとらえる力や今後の自身の生き方につなげる力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・多様な課題に対する行動や活動について、図書資料を活用しながらフィードバックする機会を設定し、本を通じて人や物事を知り、課題をとらえる視野の幅を広げ、物事を俯瞰して見る力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…今までに自分が読んだ本の中で、人生のアドバイスが欲しいとき、迷いや疑問を感じたときに希望や勇気をもたらしてくれた言葉を図書資料から収集する。
- 整理・分析…図書資料から収集した情報と自分のこれまでの経験を照らし合わせ、自身の課題、学年の課題を整理・分析してクラスミーティングに向けての原稿を書く。
- まとめ・表現・発信…今年度の自分を振り返り、図書資料の先人の言葉を生かして、クラスミーティングで自分の思いを発信する。

○ 学習の展開 (全 8 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第 1 時	今年度の自分自身、クラス、学年を振り返り、2年生につなげていきたい学年の強みやもちあじ、大切にしたいワードや心がほっとするワード、メッセージをワークシートに記入して班で交流する。
第 2 時	2年生まで残りの3か月間で、学年のつながりや居心地をよくするためにできる取り組みを班で意見を出し合う。前回のメッセージを交流し、具体的な取り組み名、活動内容、目的などを班で交流し、ワークシートにまとめる。
第 3 時 ☆	第2時のワークシートの内容をまとめたプリントを配付し、代議員が発表する。残りの日数の一日一日を大切に過ごすため、日めくりカレンダーのアイデアをクラスの仲間同士でアドバイスし合いながら作成する。日めくりカレンダーにその日の出来事や偉人の名言などを図書やICTで調べて作成する。

第4～5時 ☆（本時）	クラスミーティングに向けて、ワークシートに今年の自分自身の振り返り、今まで読んだ本で自分を支えてくれた一節、自分の座右の銘、来年度の抱負を書く。班や班以外の人とも意見交流、情報交流しつつ、本の一節や座右の銘は、図書館の本を活用してワークシートを完成させる。
第6～7時	クラスミーティングで今年度の振り返り、来年度の抱負、本の一節、座右の銘などを一人ずつ発表していく。
第8時	学年集会で、クラスミーティングを振り返り、次年度の集団づくりに向けてのメッセージを発表する。

（本時4 / 8時）

☆学校図書館等活用（本時）の学習

本時のねらい 一人ひとりのメッセージに思いをめぐらせ、言葉を通して自分を見つめる。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
7	1. 一年間の軌跡を振り返る 一年間の活動の振り返り動画を見る。	一年を通して、行事など、自分の活動をふりかえる。
36	2. クラスミーティングの原稿書きを行う。 <テーマ> ① 自分に矢印を向ける → 一年間の活動をふりかえて、自分がチャレンジできたこと、取り組めたことをふりかえる。 ② 学年に矢印を向ける → 学年の温度計を上げるために、2年生に向けて、大切にしていきたいことを全体に向けて発信する。 *テーマにあわせて、自分の言葉とそれにつながる図書館の本の文章や言葉をまとめて発信することで、人との本との関係性や本による影響を知る 生徒が参考にした本の例： 「21世紀版少年少女日本文学館」（講談社） 「ぐっとくる映画のセリフ」（あさのあつこ 監修、鈴木出版） 「きみを変える50の名言」（佐久間博 文、汐文社） 「ぼくの、わたしの座右の銘」（教育画劇）	「人を通して本を知る」 「本を通して人を知る」 クラスの仲間がどんな本からどんな影響を受けたのか、どんな言葉に心を支えられたのかなど、お互いを知るきっかけとして図書館の本を活用する。
7	3. 言葉のもつ力を考えながら原稿にまとめていく。 自分の言葉だけでなく、物語や文章からの言葉もあわせて発信することで、言葉がもっている力や背景を知る。	班や班以外のクラスの仲間と交流し、アドバイスし合いながら原稿を書くように指導する。

図書館活用
ポイント